

* 栽培品種の特徴 *

みやこ

果実はやや小型で果皮は濃緑色で、形状は偏円タイプです。果肉は粉質が強くホクホク感があり、甘みもあります。



味平

果実はやや大型、果皮は濃緑色で、形状は偏円タイプです。果肉は粉質系で、糖度が高いです。

坊ちゃん

果重は500g前後で、果皮色は黒緑色に浅いストライプが入った偏円の強粉質種です。ミニカボチャとしては特に食味が良く、ラップをかけて電子レンジで丸ごと5~8分加熱するだけでおいしくいただけます。



銀世界

果実は中玉、果皮は白色で白艶が良く、形状は偏円タイプです。果肉は厚く、収穫直後では強粉質で煮くずれしやすいため、3週間程度貯蔵すると甘味も増します。

* 生産・出荷の取組み *

栽培履歴の記帳

生産者には栽培履歴・GAPの記帳・提出を義務付け、肥料・農薬の適正使用のチェックを行っています。

減農薬栽培

早期出荷に関しては、病害虫の影響を受けにくく、農薬散布回数も控えることができるため、減農薬栽培につながっています。

ギフト需要が高い

「坊ちゃん」はアーチ栽培^{※1}を行っているのでブランドマーク^{※2}がなく、ギフト需要が高い品種です。

※1 アーチ型の骨組みにつるを這わせ、ぶら下がった状態での栽培

※2 地這い栽培で日光が当たらず、黄色になる部分

収穫適期の判断

どの品種も品質を最重要視し、必ず圃場で「試し割り」を行い、収穫適期を判断しています。

早期出荷

基本となる品種は「みやこ」で、作型はビニールハウス、露地トンネル(保温栽培)を利用した早出しです。近年は、道内のトップを切って出荷しています。

月別出荷状況

